

剣山～三嶺&石鎚山行報告

【山行日】2021年 5月 1～4日(土～火)

【集 合】岩舟支所P AM 3:45

【費 用】マイカー1台 : 56,700円

【メンバー】CL:鈴木 SL大西 島田、関、福島

1日 晴れ後雨 岩舟支所を出発し、見ノ越から
リフトで西島まで行き頂上ヒュッテへ宿泊

岩舟支所P3:45=見ノ越P14:35/14:55++西島

15:10/15:20～剣山頂上ヒュッテ 16:00

一昨年11月に計画したが、台風19号の被災により中止を余儀なくされた。今回はリベンジ山行として、リクエストがあり計画した。今年はコロナの影響で、5月連休は高速道の休日割引が適用されない。

深夜割引を利用するため、岩舟支所を3時45分に出発する。東北道から圏央道を通り、新東名を走って静岡 SA で朝食を食べる。伊勢湾岸道から四日市 JCT も順調に走り、高槻 JCT から宝塚北へ回ると渋滞も無く淡路 SA に着くことが出来た。いつものように瀬戸内海の景色を楽しみながら、レストランでランチタイムとする。皆で淡路 SA 人気 No.1の「三味井」を美味しくいただく。ランチが済んだらテラスから



芝生の広場を散策し、明石海峡大橋から大阪湾方面の景色を楽しむ。景色を楽しんだら車に戻り、神戸淡路鳴門自動車道を走り、大鳴門橋の上から鳴門のうずしおを楽しんだ。四国に上陸しいよいよ剣山が近づいたが徳島自動車道に入ると、ナビが脇町 IC で降りて国道492号線を進めと指示してきた。美馬 IC から国道438号線を通るルートは、途中工事で通行止めになっているという。悩んだが、とりあえず美馬 IC まで行き、道の駅「貞光ゆうゆう館」で確認することにした。道の駅で確認すると、平日は工事の為通行止めになっているが、休日は片側

交互通行で通行出来るとのこと。一安心し、道の駅で買い物を楽しんだ。ここから国道438号を通り剣山へ向かうが、この国道は狭くてカーブが連続し、毎回運転手を苦しめる道だ。山道を走るとだんだん雲行きが怪しくなり、雨が降り出した。リフトが動いているか心配になったが、とりあえず行くしかない。見ノ越に着き、車を駐車場に止めて確認すると、リフトは運転中止となっていた。動かなければ西島まで50分、歩いて登らなければならない。靴を履き替え出発の準備をしているとアナウンスがあり、14:55分から運転再開しますとの事。超ラッキーでリフト券を購入し、乗場に行き無事載ることが出来た。西島の駅に着いたが、まだ小雨が降っていて風も強い。レインウェアを着て、ザックカバーを付け剣山頂上ヒュッテに向かって出発する。ところが皆さん元気に登って行くと、我輩は息が苦しくてついていけない。皆さんが見えなくなってしまうが、自分のペースでゆっくり登ることにする。雨は少し落ちているが大した降りではなく、頂上ヒュッテに無事到着した。

検温と消毒を済ませたら受付をし、ヒュッテ利用の注意事項の説明を受け部屋に落ち着いた。レインウェアやザックカバーを乾燥室に干し、ザックを整理したら反省会。今回は男性二人で静かに飲むことにした。焼酎1杯と日本酒1杯で止めて、夕食の時間まで部屋で待つ。17時30分から夕食となり、1階の食堂で美味しくいただく。明日の朝食は4時30分から用意してくれるというので、食べてから出発することにした。部屋に戻り出発の準備をして、明日の早立ちに備えて就寝する。

2日 晴れ後雪 頂上ヒュッテから剣山に登り、次郎岬から三嶺に向かうが時間切れで高ノ瀬から剣山まで戻り、見ノ越から下谷へ移動しロープウェイで成就の白石旅館へ

頂上ヒュッテ 5:20～剣山 5:30/5:35～次郎岨 6:20/6:40～丸石避難小屋 7:55～高ノ瀬 8:50/9:00～丸石避難小屋 10:00～次郎岨巻道分岐 11:30/11:45～西島 12:20+++見ノ越 12:35/12:55＝下谷駅 16:25/17:00+++成就 17:10～白石旅館 17:30

朝4時に起きて出発の準備をし、4時30分から宿の方が用意してくれた朝食をいただく。炊き立てのご



飯に温かい味噌汁、おかずも沢山並び宿の方に感謝である。しっかり食べて外に出ると晴れていて、日の出が見られたが風が強くとても寒い。上衣を着ても寒いのでヒュッテに戻り、下着を1枚余分に着て、レインウエアーを着た。今日の天気予報は曇りで風が強く、昼ごろから雨となっていて登山には厳しい天気ようだ。

皆さんもそれぞれ防寒対策をして、ストレッチを済ませ出発する。ヒュッテと神社の間の石段を登って行くと稜線に出て、木の階段と木道が剣山山頂まで続いている。気温が低い為、木道に霜が付いていて滑りやすく、慎重に登って行く。ヒュッテから山頂までは10分程で登

れ、山頂で記念写真を撮り景色を楽しむ。風が強くて寒いので長居は出来ず、早々に次郎岨へと向かう。霜が付いた木道の下りは怖く、滑らないように滑り止めの棧に足を置いて下る。木道が終わり登山道になると歩き易いが、西風が強くと折あおられてバランスを崩す。一旦次郎岨岨まで下り、ここから下った

分登り返す。次郎岨に登り山頂で記念写真を撮った東側に少し下り、風を避けて休憩を取る。ここから三嶺まで縦走する計画だが、強風と昼頃からの雨の予報の中行けるか相談する。朝食を食べた分こままで計画より20分遅れており、とりあえず先に進んで時間を取り戻せたら三嶺まで行くことにし2班に分かれる。島田・大西の2人はここから見ノ越まで戻り、車を名頃まで回ってくる。我輩と関・福島の3人は縦走路を進み、途中で遅れた20分を取り戻せたら三嶺まで進むことにした。次郎岨から丸石までは、ミヤマクマザサの稜線を歩く爽快なスカイラインだ。



風は強いが晴れていて、展望が良い稜線歩きに、お二人は大満足の様子だった。丸石の山頂は先行したグループが休憩し、360度の展望を楽しんでいた。我々も休憩し、果物をいただきながら展望を楽しむ。丸石から一旦下って登り返し、稜線を進むと丸石避難小屋に着く。ここから景色が一変し、樹林の稜線歩きになるが、お二人はとても気に入った様子。



前方に若い男女が歩いていて、その2人を追い越せないようでは縦走は出来ない。下りでは10mくらいまで詰めるが、登りになると50m以上離される。これを繰り返しながら登って行くが、高ノ瀬への登りは岩場の急登で完全に引き離された。ようやく高ノ瀬山頂に着くと、大勢のパーティが休んでいた。皆さん三嶺まで縦走するパーティで、話が弾んでいた。我々の時間を確認すると、計画よりも40分遅れていた。次郎岨からさらに20分遅れてしまった。これでは名頃まで14時には着けない。14時まで降りられないと、石鎚山のロープウェイ最終便に間に合わないことになる。2人に説明し、ここから引き返して見ノ越に下りることにする。スマホが繋がるので、島田さんに見ノ越で待つように連絡した。



高ノ瀬でゆっくり休憩したら、往路を戻り西島を目指す。小雪がちらつく中アップダウンが続く稜線は結構きつく、ようやく次郎岨の分岐まで来た。ここからはトラバース道を進み、剣山への分岐まで来た。このまま西島まで歩こうとしたら、お腹が空いたので昼食を食べたいという。我輩がどら焼きを出すからこれでしのでと言うが、カップ麺を食べるといのでランチタイムとする。ランチが済んだら西島に向かってペースを上げるが、天気が急変し雪がどんどん激しくなって吹雪のようになる。剣山を巻いて西島に向かうが、ここら辺からは大きな牡丹雪となり衣服に纏わりつく。ようやく西島に着きリフト

券を買って、リフトで見ノ越まで下る。見ノ越まで下りると雪は少し小降りになり、2人と合流して車に乗り石鎚山へ向かう。ロープウェイ下谷駅に着き、駐車場に車を止めて出発の準備をする。必要なものだけザックに詰めて、17時発のロープウェイで成就駅まで登り、歩いて白石旅館まで行く。受付を済ませチェックインすると、先に着いたグループが入浴中なので先に夕食を食べてほしいとの事。18時から夕食をいただいたが、皆さん豪華な料理に大満足。ビールやお酒を飲みながらゆっくりいただき、夕食が済んだら入浴する。明日登る石鎚山は30cm以上の積雪があるとの情報で、5時出発は危険なので朝食を食べてから7時出発に変更した。明日の山行に備えて、早めに就寝した。



3日 快晴 雪の石鎚山をピストンで登り、下山後「しまなみ海道」の景色を楽しみながらドライブを楽しみ、ルートイン「倉敷水島」に宿泊する。

白石旅館 7:00～夜明峠 8:40～二ノ鎖小屋 9:00/9:15～弥山 10:00/10:15～二ノ鎖小屋 10:55/11:00～夜明峠 11:15～白石旅館 12:25～成就 12:40/13:00++下谷駅 13:10/13:30＝しまなみ海道「瀬戸田PA」＝ルートインホテル「倉敷水島」17:00

今日はこの連休で一番の好天になる予報だが、昨日の雪がどの程度積もっているか心配しながら朝食をいただく。朝食もとても美味しく、8800円はリーズナブルな料金だと思った。ストレッチを行なったら出発し、まずは石鎚神社成就社に参拝し、安全登山を祈願する。ここから御神体の石鎚山がはっきり望めるのは初めてのことで、雪を纏った石鎚山は神々しく御神体だと思った。神門をくると登山道になり、ここらしばらくゆるやかに下って行き、下り切った鞍部が八丁と言われる所だ。八丁から登りとなり、雪がだんだん深くなる。ここら辺の雪は水分が多く、その分凍っていて滑りやすい。木の階段も凍っていて、滑らないように慎重に足を置く。高度を上げると雪が増々深



くなり、傾斜もきつくなるので慣れない人は大変である。途中で2人はこれ以上登るのは危険なので引き返し、3人で様子を見ながら頂上を目指す。すぐに試しの鎖になるが、雪で難しいと思い避けて登山道を進む。若者が先行して試の鎖に挑んでいったが、上の小屋跡で休憩して待ったが降りてこなかった。ここから緩やかに下った所が夜明峠で、ここらあたりが一番雪が深い。高度が上がると雪質が変わりフカフカ雪なので滑りにくく、フラットに足を置けば怖くない。

少し登ると最初の鎖場「一ノ鎖」に出て、「ここは登りたい人は登っていいよ」と言うと F さんが登るとい



我々は一般登山道を登り、一ノ鎖の上で待つが登ってこない。しばらく待って「オーイ」と声を掛けるが返事も無い。もう登ってしまい先に進んだのかなと、二ノ鎖小屋まで行くがここにも居ない。二ノ鎖小屋は建て替えられて立派になり、休憩所の隣に水洗トイレが設置されていた。トイレを済ませて下を見ると、ようやく登って来た。疲れた顔をしており、かなり大変だったようである。一ノ鎖で難儀しては二ノ鎖は難しいので、一般登山道を登って行く。ここら辺から頂上山荘に泊った登山者が次々に下ってくるが、急坂の下りは大変そうだ。我々が下るところには雪が融けるので、それほど大変ではないと思う。

登山道も難所は広い鉄の階段が付けられ、真ん中に手摺が付き上りと下りが分かれているので安心して登れる。三ノ鎖はもちろんパスし、登山道をゆっくり登ると弥山山頂に着く。大きな「石鎚山山頂」の標識の前で記念写真を撮り、その上の石鎚神社奥宮を参拝する。最高の天気恵まれて

山頂からの眺望は素晴らしく、360度の大自然を楽しめた。思いがけない雪景色は、登って来たものだけが得られるご褒美で、2人の顔は達成感に満ち溢れていた。目の前に西日本最高峰の天狗岳が聳えるが、雪が有るので今回は我慢して眺めるだけにする。山頂でゆっくり展望を楽しんだら下山する。階段の雪は融けて問題なく下れるが、登山道は圧雪された雪で滑りやすい。三ノ鎖まで下ると登山者が急に多くなり、すれ違いに気を使う。ストックを使いながらフラットフットイングで下り、問題なく二ノ鎖小屋まで下る。ここでも登山者と下山者でごった返し、かなりの密状態になっていた。登りの人に聞くとロープウェイで登って来る登山者が多く、下谷のロープウェイ駅は長蛇の列で1時間30分待ちだと言っていた。夜明峠から試の鎖くらいまでは登りの人が多かったが、八丁まで下るとさすがに登る人は少ない。神門の手前まで O 嬢が迎えに来て、白石旅館に預けた荷物を受け取り成就駅に向かう。12時40分に乗ろうと急ぎ足で下るが、駅に着いた時に出てしまった。13時の



ロープウェイに乗って下谷駅に下り、靴を履き替え荷物を整理したら出発する。当初は松山市の道後温泉に宿泊予定だったが、松山市はコロナ感染者が急増し蔓延防止等重点措置の適用を要請してるので、ルートインホテル「倉敷水島」に変更した。西条市のコンビニで昼食を買い、食べながらしまなみ海道へ向かう。好天に恵まれてしまなみ海道の景色は素晴らしく、自転車で走る人達も気持ちよさそうに走っていた。途中、生口島の瀬戸田 PA に寄り、お土産をゲットする。福山西ICから山陽道に入り、玉島ICで降りルートインホテル「倉敷水島」に到着する。チェックインしたら

ら直ぐに入浴し、18時からホテルのレストランで夕食をいただく。豪華なメニューは無いが、居酒屋メニューは豊富で、刺身や焼き物、冷奴等でビールをいただき反省会を行った。部屋に戻ったら直ぐにベットにもぐり、朝までグッスリ寝ることが出来た。

4日 晴れ 今日完全に移動日で、サービスエリアでお土産を買い岩舟支所に帰着する。

ルートインホテル「倉敷水島」8:00＝吉備SA＝宝塚北SA＝岡崎SA＝岩舟支所P18:00

朝5:30分に起きると今日も天気は良さそうである。今日は車に乗っての移動日なので、天気はいつでも良いのだが運転手にとってはありがたいことだ。6時30分から朝食バイキングが始まり、好きな物を好きなだけ食べられる。いつもより少し食べ過ぎるが、色々な種類の料理を食べられてありがたい。



予定通り8時に出発し、山陽道の吉備 SA でお土産の「吉備団子」を買う。今日は高速道をひたすら走るので、大きなサービスエリアでお土産を買いながら走る。次の休憩は宝塚北 SA で、ここも大きなサービスエリアで、お土産の種類は豊富である。

高槻 JCT から名神高速道に入ると、京都南から渋滞の情報が京滋バイパスに迂回するが、こちらも渋滞していた。やはり京都近辺は、観光客が数多く訪れたようである。

新名神高速道も車が多く、いつものようには走れなかったが、伊勢湾岸道に出たら順調に走るようになった。

新東名高速道に入り、岡崎 SA で休憩し、ランチと最後のお買い物。ここからも順調に走り、17時には帰れると思いきやそう甘くは無い。御殿場 JCT から東名高速道に入ると、事故渋滞の表示が次々と出る。大井松田 IC 付近で事故があり足柄 SA あたりからノロノロ運転になる。渋滞の中、鮎沢 PA に寄ってトイレを済ませ、これからの渋滞に備える。ノロノロ運転は秦野中井 IC を過ぎるまで続いたが、その先は走れるようになり海老名 JCT より圏央道に入る。圏央道からは順調に走り、予定通り18時に岩舟支所に帰着出来た。色々予測できないハプニングが続出したが、強風の剣山と雪の石鎚山に無事登ることが出来、結果オーライの思い出に残る山行となった。